

学校だより

7月号



「やってみる!」を大切に、
自分たちの手でつくる学校へ

校長 岡島 眞寿美

まばゆい夏の太陽が顔をのぞかせ、いよいよ一学期の締めくくりの季節を迎えました。保護者の皆様、地域の皆様には、今学期も本校の教育活動に温かいご理解と多大なご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今年度、本校では「自分から先にあいさつ」「心でキャッチしっかり聴く」「『やってみる!』をたいせつに一人一人が活躍する」の三つの合言葉を掲げ、子どもたち一人ひとりが主役となる「児童主体の学校づくり」を進めてまいりました。

朝の登校時、横断歩道で止まってくださった車の運転手さんに、帽子を脱いで「ありがとうございます。」と丁寧に敬礼を伝える姿。自分から進んで気持ちのよい挨拶を交わす姿。そして、みんなが気持ちよく過ごせるようにと、トイレや教室のスリッパを美しく整える姿。日常のいたるところで、子どもたちが「誰かのために、学校のために、自分で考えて行動する」という主体性を発揮してくれています。自分たちの手で素敵な当麻小学校をつくろうとする頼もしい姿に、確かな成長を感じる毎日です。

昨年、本校は輝かしい創立百五十周年という大きな節目を迎え、全校アンケートによって二上山と相撲をモチーフにしたキャラクター「たいまっち」が誕生しました。「たいまっち」の手には、未来へつなぐためのバトンが握られています。

そして今年、伝統ある当麻小学校は「百五十一年目」という新たな未来への一步を踏み出しました。これまでの歴史を大切に受け継ぎながら、さらに魅力ある学校を子どもたちの手で創り出していくための挑戦、それが「たいまっちプロジェクト」です。このプロジェクトでは、委員会活動をはじめとする様々な場面で、児童が主体となったワクワクする取り組みが始まっています。



例えば、お昼の放送では図書委員会による「ワクワクラジオ番組（本の紹介）」がスタートし、全校生に読書の楽しさを届けてくれています。また、健康委員会による「健康タイム」など、それぞれの委員会が「自分たちに何ができるか」をアイデアを出し合い、主体的にプロジェクトを進めています。自分たちの「したい!」を形にするこのプロジェクトを通して、子どもたちは自ら主体となって学校を動かす素晴らしさを実感しています。今後も、子どもたちは、様々な取組を進めてくれていますので、その様子をホームページ等でお伝えしていきます。楽しみにしておいてください。

七月は、これまでの学びや生活をしっかりと振り返り、次のステップへとつなげる「まとめ」の一ヶ月です。授業での学びはもちろん、お互いの良さを認め合いながら全力で駆け抜けた一学期の歩みを、各ご家庭でもぜひお子様と一緒に振り返り、たくさん褒めてください。その自信が、次への大きなエネルギーとなります。

今学期も残りわずかとなりますが、子どもたちが安全に、そして充実したまとめができるよう、最後まで職員一丸となって指導にあたっています。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

金管クラブ あおぞら吹奏楽の演奏を披露しました (6月15日)

6月7日(日)に、金管クラブが、明日香村国営飛鳥歴史公園あすか風舞台で、あおぞら吹奏楽に参加する予定でしたが、雨のため中止になりました。そこで、15日の月曜日に、子どもたちの前で、披露しました。練習を積み重ね、素敵な音楽が、体育館に響き渡りました。これからも、金管クラブの活躍が楽しみです。



5年田植え(6月5日)

5年生が、田植えを行いました。田植え名人のボランティアの方から、苗の植え方を説明していただきました。そして、代かきをした田んぼに足を入れて苗を植えました。田んぼの泥に足をとられないように、上手にバランスを保ちながら、丁寧に苗を植えていました。今回の体験を通して、米づくりの大変さや自然の恵みの大切さについて学ぶことができました。これからも水の管理や生育の様子を観察しながら、お米が育つ過程を見守っていきます。秋に、たくさんのお米が実るのが、今から楽しみです。



今年奉納予定のお米です



体験活動の参観をご案内します

「体験」と「対話」を大切に学ぶ子どもたちの姿をぜひご覧ください。生き生きと活動する様子を共有できれば幸いです。なお、日時等の詳細は、随時tetonにて配信いたしますので、ご確認をお願いいたします。

当麻小学校ホームページも、ぜひ、ごらんください。



〒六三九〇二七三 奈良県葛城市染野三二番地

発行者 当麻小学校 校長 岡島 眞寿美

電話 〇七四五・四八二〇五九 FAX

〇七四五・四八七一二四

発行日 令和八年七月二日(木)

第411号